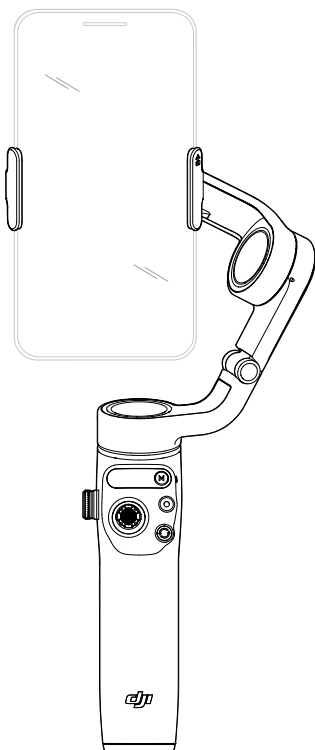


# **dji** OSMO MOBILE 6

ユーザーマニュアル v1.0 2022.09



## 🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探することができます。Adobe Acrobat Readerを使用して本書をお読みの場合、WindowsではCtrl+F、MacではCommand+Fを押して検索を開始できます。

## 👉 トピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

## 🖨️ 本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

# 本マニュアルの使用方法

## 凡例

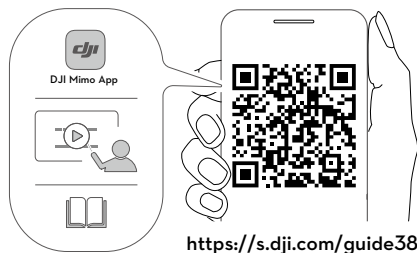
⚠️ 重要

💡 ヒントとコツ

## ご使用前に

DJI™ OSO™ Mobile 6をお使いになる前に、以下の資料をお読みください：

1. 安全ガイドライン
2. クイックスタートガイド
3. ユーザーマニュアル



DJI公式サイト ([www.dji.com/osmo-mobile-6/video](http://www.dji.com/osmo-mobile-6/video))またはDJI Mimoアプリで、すべてのチュートリアルビデオを視聴することをお勧めします。初めて使用する前に、安全に関するガイドラインとクイックスタートガイドをお読みください。詳細は、このユーザーマニュアルを参照してください。

## DJI Mimoアプリのダウンロード

上記のQRコードをスキャンして、DJI Mimoアプリの最新版をダウンロードしてください。

⚠️ iOS版のDJI Mimoは、iOS v12.0以降で動作します。Android版のDJI Mimoは、Android v8.0以降で動作します。

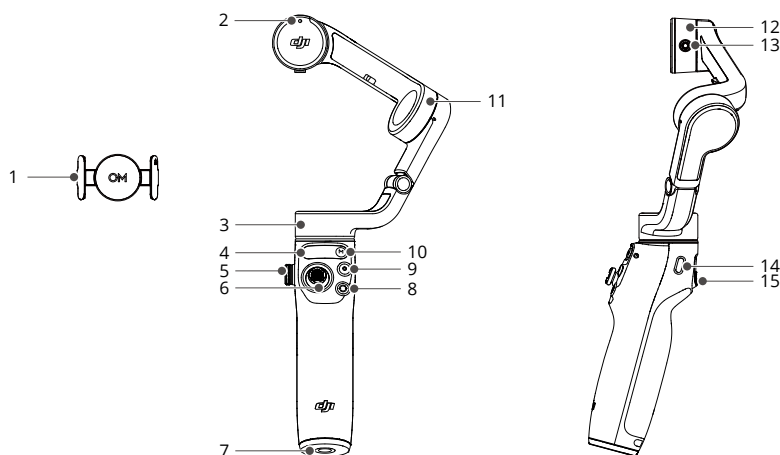
# 目次

<b>本マニュアルの使用方法</b>	<b>2</b>
凡例	2
ご使用前に	2
DJI Mimo アプリのダウンロード	2
<b>はじめに</b>	<b>4</b>
概要	4
<b>準備</b>	<b>5</b>
充電	5
スマートフォンの取り付け	5
<b>Osmo Mobile 6 の使用</b>	<b>8</b>
搭載機能	8
操作モード	11
<b>DJI Mimo アプリ</b>	<b>12</b>
DJI Mimo アプリへの接続	13
カメラビュー	13
<b>ファームウェア更新</b>	<b>17</b>
更新方法	17
<b>保管方法</b>	<b>17</b>
<b>仕様</b>	<b>18</b>

# はじめに

3軸スタビライザーを搭載し、延長ロッドを内蔵した軽量のOsmo Mobile 6は、お使いのスマートフォンの可能性を最大限に引き出します。マグネット着脱式の折りたたみ設計により、今までにないほどセットアップが簡単になり、持ち運びや保管が一層便利になり、展開時には自動的に電源がオンになります。Osmo Mobile 6は、ポートレート（縦位置撮影）とランドスケープ（横位置撮影）の両方のモードで操作可能で、さらにアップライト、吊り下げ、サイドグリップ、ローポジションモードにより、完璧なショットを撮影できます。ActiveTrack™ 5.0、DynamicZoom、パノラマなどの機能をDJI Mimoで使用すると、コンテンツ制作をネクストレベルへと押し上げます。ストーリーモード、タイムラプス、ショットガイドは、シーンに応じた撮影チュートリアルが手順ごとに表示され、SNSで共有したくなるような動画を作成できます。

## 概要



- |                               |                  |
|-------------------------------|------------------|
| 1. DJI OM 磁気スマートフォンクランプ（第三世代） | 8. 切替ボタン         |
| 2. 磁気クランプ装着部                  | 9. シャッター／録画ボタン   |
| 3. パン軸モーター                    | 10. 電源／Mボタン      |
| 4. ステータスパネル                   | 11. チルト軸モーター     |
| 5. サイドホイール                    | 12. ロール軸モーター     |
| 6. ジョイスティック                   | 13. M3×0.5 ねじ穴   |
| 7. 1/4-20 UNCポート              | 14. 充電ポート（USB-C） |
|                               | 15. トリガー         |

△ Osmo Mobile 6は、DJI OM 補助ライト内蔵スマートフォンクランプやDJI Micに対応し、それらのアクセサリはDJI ストアでご購入いただけます。

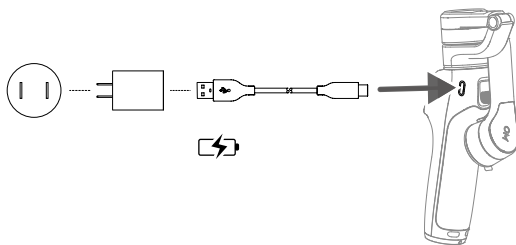
# 準備

## 充電

Osmo Mobile 6を充電するには、電源ケーブルを使用して、USBアダプター（非同梱）と充電ポートを接続してください。バッテリーが完全に充電されると、ステータスパネルのバッテリー残量インジケーターは消灯します。

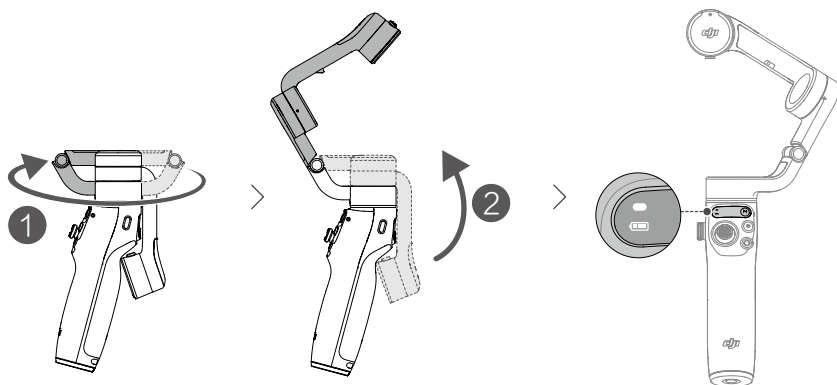
充電時間：約1時間24分（10 W充電器を使用し、環境温度 25°Cの試験時）

最大稼働時間：約6時間24分（ジンバルのバランスが取れており、安定した状態での試験値で、あくまで参考の値です）

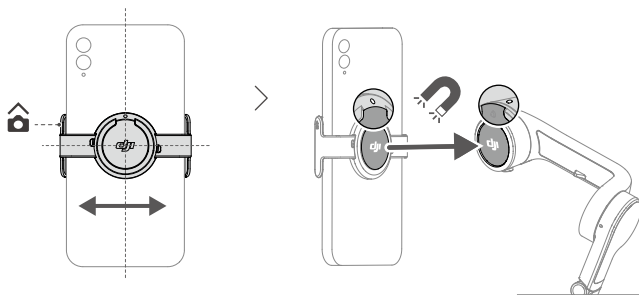


## スマートフォンの取り付け

1. 図のようにジンバルを展開してください。Osmo Mobile 6は展開すると、自動的に電源がオンになります。



2. スマートフォンの中央位置にあうように、磁気スマートフォンクランプを取り付けます。磁気スマートフォンクランプは伸ばして、調整することができます。クランプ上のカメラマークに合わせて、その方向にスマートフォンカメラが来るように取り付けてください。
3. スマートフォンクランプ上のマークと磁気クランプ装着部のマークを合わせた状態で、スマートフォンをOsmo Mobile 6に装着します。ステータスパネルのジンバルモードインジケータが点灯するとOsmo Mobile 6は安定します。

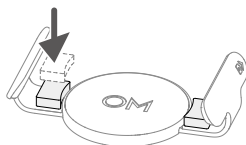


#### 磁気スマートフォンクランプ取り付け時のコツ

磁気スマートフォンクランプの向きが上記の図と同一であることを確認してください。最適な性能を発揮するには、磁気スマートフォンクランプをスマートフォン中央部に取り付け、クランプのアーム間の距離が左右一緒になるようにします。

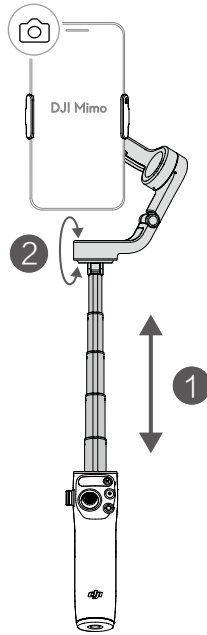


滑り止めパッドを使用すると、スマートフォンと磁気スマートフォンクランプをしっかりと固定できます。以下の図のように、滑り止めパッドを磁気スマートフォンクランプに取り付け、しっかりと押し付けます。



⚠ 磁石の位置が正しくなくしっかりと取り付けられていない場合、ステータスパネルのステータスインジケータが赤色に点滅します。そのような場合は、磁気クランプの位置を調整してください。

4. 内蔵延長ロッドは最大215 mmまで延長でき、角度は0°～90°の範囲で調整できます。



# Osmo Mobile 6の使用

## 搭載機能

### ステータスパネル

システムステータス インジケーター、バッテリー残量インジケーター、ジンバルモードが表示されます。

#### ● システムステータス インジケーターの説明

点滅パターン	説明
赤色に点滅	マグネットの位置が合っていない
黄色点灯	Bluetooth未接続
緑色点灯	Bluetooth接続状態
黄色または緑色に点滅	スタンバイモード
赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェア更新中／ファームウェア更新に失敗
赤色点灯	異常な状態を検出

#### 🔋 バッテリー残量インジケーターの説明

点滅パターン	バッテリー残量
素早い赤色点滅	5%以下
赤色点灯	6%～19%
黄色点灯	20%～60%
緑色点灯	60%～100%

### ジンバルモード

- 🌀 フォロー：パン&チルト軸フォロー。パンとチルトの両方の軸がグリップの動きに従います。上下の動きを含むシナリオや傾斜のあるシナリオに適しています。
- チルトロック：パン軸のみフォロー。パン軸のみがグリップの動きに従います。アークショットや左右の動きの多いシナリオでの撮影に適しています。
- 🌀 FPV：パン、チルト、ロール軸フォロー。3つの軸全てがグリップの動きに従います。一人称視点での撮影に適しています。
- スピンショット：パン、チルト、ロール軸をフォローします。ジョイスティックを使用して、ロール軸の回転を制御できます。スピンショットはカメラを360°回転させながら映像を撮影できるようにします。このモードはプッシュイン、プルアウト、ローアングルからの撮影などに最適です。





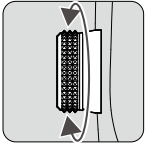
### Mボタン

#### 電源オフ時

ジンバルを折りたたんだ状態で、1回押す、または長押し：バッテリー残量を確認  
ジンバルを展開した状態で、1回押す：電源をオン

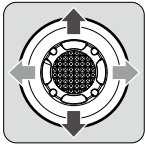
#### 電源オン時

1回押す：ジンバルモードの切り替え  
3回押す：スタンバイモードを開始。（終了するには任意のボタンを押します）  
長押しする：電源をオフ。20秒間長押しで、強制電源オフ



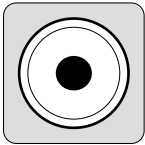
### サイドホイール

1回押す：フォーカスとズームを切り替え  
回転：フォーカスまたはズームを調整



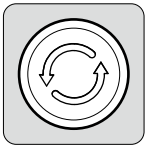
### ジョイスティック

スマートフォンを水平方向に動かしてパンさせたり、垂直方向に動かしてチルトさせます。ジョイスティックの制御方向はDJI Mimoで設定できます。クイック設定ページでは、ジョイスティックで各設定に移動します。



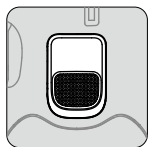
### シャッター／録画ボタン

1回押す：写真を撮影するか、録画を開始または停止します。  
写真モードで長押しすると、バースト撮影をします。



### 切替ボタン

1回押す：前面と背面のカメラを切り替えます。  
2回押す：ランドスケープモード（横向き）とポートレートモード（縦向き）を切り替えます。  
3回押す：写真モードと録画モードを切り替えます。この機能は、DJI Mimoのクイック設定で操作して設定できます。



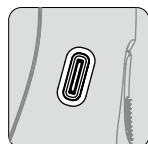
### トリガー

1回押すと、ActiveTrack 5.0を起動または停止します（Mimoと併用する必要があります）。

2回押すと、ジンバルを再センタリングします。ActiveTrack 5.0を使用している場合は、ジンバルはカメラビューの中央に再センタリングされます。

1回押して長押しすると、フォロー速度を高速モードに調整し、離すと終了します。

長押しするとロックモードになります。ロックモードでは、ジンバルはハンドルの動きをフォローしません。離すとロックモードが終了します。



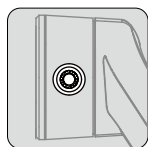
### 充電ポート (USB-C)

Osmo Mobile 6を充電するには、USBアダプターをこのポートに接続します。



### 1/4-20 UNCポート

1/4-20 UNCポートを使用して三脚を取り付けることができます。



### M3×0.5 ねじ穴

カウンターウェイトを取り付けるために使用します。カメラレンズまたはマイクがスマートフォンに取り付けられている場合は、カウンターウェイトを使用してください。これらのアクセサリーの総重量は、290 g未満であることを確認してください。

### 組み合わせ操作

切替ボタン、シャッター／録画ボタン、トリガーを1秒以上同時に押すと、Bluetoothの名前と接続がリセットされ、再接続を行います。



Osmo Mobile 6は、スタンバイモードで3分間無操作の場合、自動的に電源がオフになります。

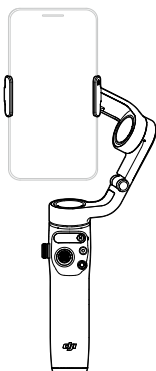
---

## 操作モード

ポートレートモードやランドスケープモードで使用する場合に、操作モードが適用されます。

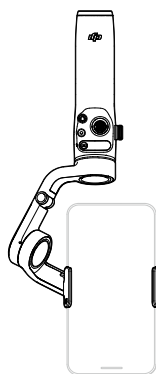
### アップライトモード

アップライトモードは最初から使用できるモードです。このモードでスマートフォンをセンタリングするには、トリガーを素早く2回押してください。



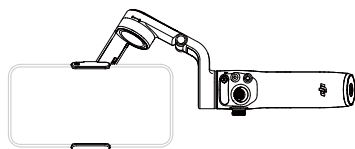
### 吊り下げモード

Osmo Mobile 6を逆さにすると、吊り下げモードになります。このモードでは、スマートフォンで低い位置からの映像を簡単に撮影できます。トリガーを2回押すと、スマートフォンが中央に配置されます。



### サイドグリップモード

Osmo Mobile 6を右または左に90°回転すると、アップライトモードからサイドグリップモードになります。トリガーを2回押すと、スマートフォンが中央に配置されます。



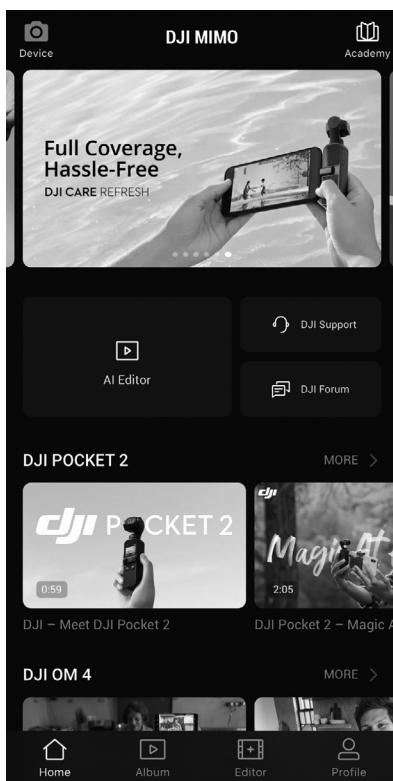
### ローポジションモード

内蔵延長ロッドを伸ばして、角度を調整すると、ローポジションモードになります。ローアングル撮影をする場合に、ローポジションモードを使用してください。



# DJI Mimoアプリ

DJI Mimoアプリを使用して、スマートフォンの画面でライブHD動画を確認できます。このアプリで、ショットガイド、ストーリーモード、ハイパーラプス、タイムラプス、ActiveTrack 5.0、DynamicZoom、パノラマなどを使用したり、カメラとジンバルの設定を数回タップするだけで変更したりできます。



📷 **デバイス**：タップするとOsmo Mobile 6に接続します。一旦接続すると、DJI Mimoはカメラビューに入ります。

📖 **アカデミー**：タップすると、チュートリアルやマニュアルを閲覧できます。ジンバルのQRコードをスキャンすると、アカデミーを直接閲覧することができます。

🎬 **AI編集**：写真・動画編集用のテンプレートがあります。

🏠 **ホーム**：タップすると、ホーム画面に戻ります。

📁 **アルバム**：スマートフォンまたは他のDJIデバイスからの映像を管理および表示します。

✂️ **編集**：タップすると、Osmo Mobile 6を使って撮影した写真や動画を編集したり、モバイル端末からインポートして編集をしたりします。

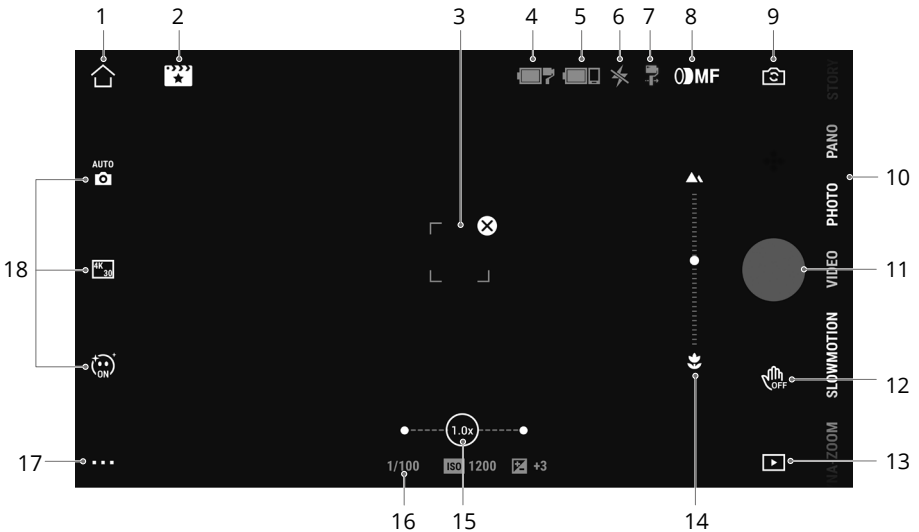
👤 **プロフィール**：DJIアカウントの登録やログインをします。設定アイコンをタップすると、詳細を設定できます。

## DJI Mimoアプリへの接続

1. Osmo Mobile 6の電源を入れます。
2. スマートフォンでBluetoothを有効にし、DJI MimoのOM 6 から始まる名前のデバイスに接続します。
3. DJI Mimoを初めて使用する際に、特定の情報へのアクセスを許可する必要があります。プロンプトにアクセス先に関する正確な情報がリスト表示されます。インターネット接続が必要となります。承認後にOsmo Mobile 6はアクティベーションされ、アプリはカメラビュー表示になります。

⚠ Bluetoothで接続すると、Osmo Mobile 6は、DJI Mimoなしでスマートフォンのカメラを制御することが可能です。詳細については、スマートフォン互換性一覧 ([www.dji.com/osmo-mobile-6](http://www.dji.com/osmo-mobile-6)) を参照してください。

## カメラビュー



### 1. ホーム

🏠 : タップするとホーム画面に戻ります。

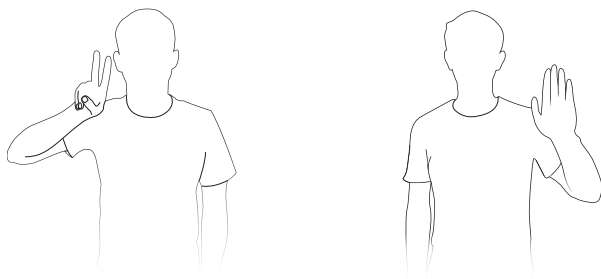
### 2. ショットガイド

📌 : ショットガイド (ShotGuides) は、シナリオに応じた手順ごとの撮影チュートリアルを実行し、AI編集を使って動画を編集できます。

### 3. アクティブラックの選択ボックス

👁 : ActiveTrack 5.0は、被写体のトラッキングがより最適化されています。デフォルトでは、被写体は常にカメラビューの中央に配置されます。カメラビューは手動で調整できます。ActiveTrack 5.0を使用するには、以下の3つの方法があります：

- a. DJI Mimoのカメラビューで画面上をドラッグしてボックスを配置します。被写体の周囲に緑色のボックスが表示されている場合、ActiveTrack 5.0が正常に動作していることを示します。トラッキングを停止するには、上部の隅にある✕アイコンをタップしてください。
- b. DJI Mimoでジェスチャー操作👉を有効にし、[フォロー&撮影]を選択し、カメラに向かって1~2秒間、手のひらを向けるかVサインのジェスチャーを行います。ジンバルはカメラに最も近い被写体をフォローします。ジンバルとジェスチャーとの間の検知範囲は0.5 m~4 mです。ActiveTrack 5.0は、スマートフォンの消費電力が増加し温度を上昇させる可能性があるため、ご注意ください。手のひらを向けるかVサインのジェスチャーを実行すると、録画が停止します。



- c. トリガーを1回押すと、ActiveTrack 5.0が開始または停止します。デフォルトでは、ジンバルは画面の中央で被写体をフォローします。ActiveTrack 5.0を使用中、ジョイスティックを動かすと、カメラビューを調整できます。

#### 4. ジンバルのバッテリー残量

🔋: ジンバルの現在のバッテリー残量を表示します。

#### 5. スマートフォンのバッテリー残量

🔋: スマートフォンの現在のバッテリー残量を表示します。

#### 6. フラッシュ

✳️: フラッシュの状態を表示します。

#### 7. ジンバルモード

📷: 現在のジンバルモードを表示します。フォロー、チルトロック、FPV、スピニングショット。

#### 8. フォーカス/ズームモード

📷MF: フォーカス (MF) またはズーム (ZM) の使用時にサイドホイールの機能を示します。

#### 9. 前面/背面カメラスイッチ

📷: タップすると、スマートフォンの前面カメラと背面カメラを切り替えることができます。セルフイー、フォロー、美顔効果は、前面カメラへの切り替え時に自動的に有効になります。注: 4Kまたは60fpsで録画時は、美顔効果は利用できません。

#### 10. 撮影モード

スクロールして撮影モードを選択します。

ハイパーラプス: スマートフォンを動かしながら、タイムラプス映像を撮影できます。シャッターボタンをタップすると、開始します。

**タイムラプス：**以下の4種類のタイムラプスがあります（固定角度、左から右へ、右から左へ、カスタムモーション）。タイムラプスを選択したら、画面上部の設定をタップしてください。この設定では、時間と長さを設定できます。カスタムモーションの場合は、最大4箇所の撮影位置を選択してください。撮影を開始すると、ジンバルが設定した位置を順番で移動します。

**DynamicZoom：**ムーブアウトモードとムーブインモードから選択します。モードを選択したら、ドラッグして枠で被写体を選択し、シャッターボタンをタップして撮影を開始します。

**スローモーション：**4倍および8倍のスローモーションで動画を撮影します。詳細についてはスマートフォン互換性一覧をご確認ください。

**動画：**タップすると、通常の動画撮影になります。

**写真：**タップすると、シングル撮影で写真を撮影します。シャッターボタンを長押しするとバースト撮影をします。


**パノラマ：**タップすると、3×3、240°、または分身パノラマ写真を撮影します。カメラは、9枚/7枚/3枚の写真を別々に撮影し、パノラマを生成します。

**ストーリー：**様々な動画を記録するテンプレートがあります。


## 11. シャッター／録画ボタン

●：タップすると、写真を撮影するか、動画の録画を開始／停止します。

## 12. ジェスチャー操作の切り替え

：タップすると、ジェスチャー操作の設定に移動します。


## 13. 再生

：タップすると、写真や動画をプレビューします。


## 14. 焦点距離

⬇️ ..... ● ..... ⬆️：サイドホイールをクリックすると、フォーカスモードに切り替わり、現在の焦点距離を表示します。


## 15. ズーム

：現在のズーム率を表示します。2本の指を画面に置いて、広げる（ピンチアウト）とズームインし、狭める（ピンチイン）とズームアウトします。バーをスライドしても、ズームを調整できます。

## 16. 撮影パラメーター

1/100 ISO 80  0：シャッター速度、ISO、EV値を表示します（一部のスマートフォンは非対応）。

## 17. 設定・・・

：カメラ設定

撮影モードによって、設定が変わります。背面カメラを使用している場合のみ、フラッシュ、ホワイトバランス、グリッドの設定が使用可能です。iOSデバイスの場合、セルフイー反転表示は、写真モードおよび動画モードで前面カメラを使用している場合に使用できます。Androidデバイスの場合、セルフイー反転表示は写真モードでのみ使用できます。

：ジンバル設定

ジンバルモード：フォロー、チルトロック、FPV、スピンショットから選択します。

フォロー速度：高速、中速、低速のフォロー速度から選択します。

ジンバル自動キャリブレーション：周囲からの磁気干渉や人的エラーによるドリフトを低

減します。キャリブレーションを行う前に、三脚を使用してOsmo Mobile 6を平らな面に置いてください。キャリブレーション中はジンバルに触れないでください。

**ジンバルの水平調整:**ジンバルを調整する前に、磁気スマートフォンプランプが水平であることを確認してください。

**ダイヤルモード:**サイドホイールのフォーカス、ズーム、または機能の無効化を割り当てます。

**スイッチボタンを3回押す:** 写真撮影、録画、クイック設定への移動の機能が設定可能です。

**ジョイスティック速度:** タップしてジョイスティックを制御する際の最大速度を設定します。高速、中速、低速から選べます。

**ジョイスティック操作方向:** フリーと水平/垂直から選択します。フリーは、水平方向と垂直方向を同時に、ジンバル制御できます。水平/垂直は、ジンバルを水平方向または垂直方向に制御できます。

**ジョイスティック反転:** この機能を有効にすると、ジンバルの動作方向が反転します。[オフ]、[水平]、[垂直]、[すべて]から選択します。[水平]を有効にするとパン軸動作方向が反転します。[垂直]を有効にするとチルト軸動作方向が反転します。

**ダイヤル反転:** この機能を有効にすると、事前に設定したダイヤル設定の方向が反転します。[無効]、[フォーカス方向]、[ズーム方向]、[すべて]のオプションから選択します。

**ビープ音:** ジンバルのビープ音をオン/オフできます。

#### ■: 一般設定

デバイス管理、デバイス名、バージョン情報、デバイスのシリアル番号などの情報が含まれます。

## 18. 撮影パラメーター設定

撮影パラメーターは、撮影モードに応じて設定できます。アイコンをタップすると、設定に移動します。

- 
- ⚠️
- ジェスチャー操作やアクティブトラックは、以下のシナリオで利用できません：
    - ジンバルモードが、FPVまたはスピンショットに設定されているとき。
    - ズーム倍率が3倍を超えているとき。
  - セルフィーやフォローは、以下のシナリオでは利用できません：
    - ジンバルモードが、FPVまたはスピンショットに設定されているとき。
    - ジェスチャー操作が有効になっているとき。
    - 前面カメラのズーム倍率が、3倍を超えているとき。
  - 撮影パラメーター設定は、スマートフォンのモデルによって異なります。詳細については、対応スマートフォン一覧 ([www.dji.com/osmo-mobile-6](http://www.dji.com/osmo-mobile-6))を参照してください。
-



## ファームウェア更新

DJI Mimoを使用して、Osmo Mobile 6のファームウェアを更新します。更新には、およそ3分かかります。

### 更新方法

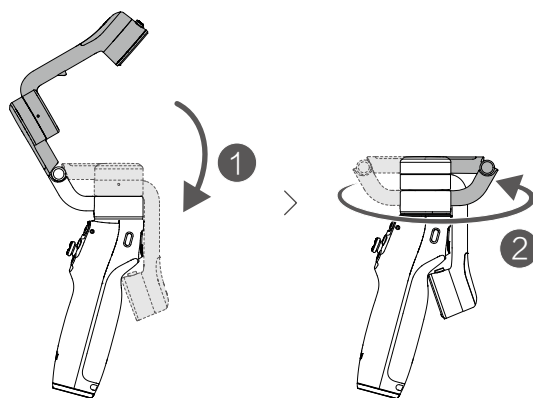
更新を開始する前に、バッテリー残量インジケータが緑色か黄色で点灯していることを確認してください。Osmo Mobile 6をお手持ちのモバイル端末に接続し、DJI Mimoアプリを起動します。新しいファームウェア更新が利用できる場合、プロンプトが表示されます。更新を開始するには、モバイル端末をインターネットに接続し、画面の指示に従います。

ファームウェアの更新中は、DJI Mimoを終了しないでください。画面に表示されるプロンプトに注意してください。システムステータスインジケータが緑色と赤色で交互に点滅し、ファームウェア更新が正常に完了すると緑色に点灯します。

更新が失敗した場合はDJI Mimoを再起動し、Bluetoothに再接続してから再試行してください。

### 保管方法

Osmo Mobile 6は、保管や持ち運びが簡単な折りたためる設計です。電源を切った後は、必ず内蔵延長ロッドを完全に格納し、Osmo Mobile 6を折りたたんでください。図のようにパン軸とチルト軸を回転して、ジンバルを折りたたみます。軸アームの磁気クランプ装着部のマーク部分がハンドルのくぼみに収まるようにしてください。図のようにパン軸を定位置まで回転させ、ロックします。



# 仕様

<b>一般</b>	
ジンバル サイズ	展開時：276×111.5×99 mm（長さ×幅×高さ） 折りたたんだ状態：189×84.5×44 mm（長さ×幅×高さ）
重量	ジンバル：約309 g 磁気スマートフォンクランプ：約31 g
内蔵延長ロッドの最大長	215 mm
対応スマートフォン 重量	170～290 g
対応スマートフォン 厚さ	6.9～10 mm
対応スマートフォン 幅	67～84 mm
<b>バッテリー</b>	
種類	Li-Po 2S
材料	LiCoO <sub>2</sub>
容量	1000 mAh
電力量	7.74 Wh
電圧	6～8.8 V
充電温度範囲	5℃～40℃
動作環境温度	0℃～40℃
動作時間	約6時間24分（ジンバルのバランスが完全にとれた理想的な条件下で使用して測定）
充電時間	約1時間24分（10W USB-C充電器を使用して測定）
ジンバル充電ポート	USB-C
電源出力ポート	なし
底面ポート	1/4"-20 ねじ穴
<b>ジンバル</b>	
消費電力	1.1 W（理想的な条件下で測定した、おおよその値です）
操作可能範囲	パン：-95°～95° ロール：-100°～175° チルト：-25°～40°
機械的可動範囲	パン：-161.64°～173.79° ロール：-120.30°～211.97° チルト：-101.64°～78.55°
最大操作速度	120°/s
<b>無線モード</b>	
モデル	Bluetooth 5.1
<b>その他</b>	
アプリ	DJI Mimo
<b>グリップ式三脚</b>	
サイズ	長さ：138 mm 直径：32 mm
重量	約72 g

お問い合わせはコチラ



連絡先

DJI サポート



<https://www.dji.com/osmo-mobile-6/downloads>

本書についてご質問がある場合は、DJI (DocSupport@dji.com) までメール  
でお問い合わせください。

Copyright © 2022 DJI All Rights Reserved.